復興12	令和8年度 地域課題研究ゼミナール支援事業　中間報告		
指導教員	金沢大学　豊島祐樹	参加学生数	15
連携ゼミ	石川工業高等専門学校　村田一也　　金沢工業大学　片桐由希子		
課題タイトル	やなぎだ植物公園における子どもの遊び体験デザイン		
活動地域	能登町	連携団体等	能登みらい創造ネットワーク
活動概要	奥能登2市2町では、能登半島地震・豪雨の影響により子どもが安心して遊べる場所が限られ、行政区画を越えてやなぎだ植物公園を利用する家族も増えている。公園では大型遊具の設置が進み、今年度は新たな遊具・施設（屋外設備に加え、屋根のある滞在・活動空間、茅葺古民家の修復等）の整備も見込まれている。そこで本活動は、整備が進む「空間（ハード）」を前提に、来園した子どもが1～2時間で満足できる「遊び方（コンテンツ）」を複数設計し、空間とコンテンツを統合した子どもの遊び場モデルとして提案することを目的とする。		
活動状況	7/10　2人　現地での検討・打ち合わせ 8/6　4人　実施計画についての打ち合わせ 9/2　4人　イベントに向けた打ち合わせ 9/8　4人　イベントに向けた打ち合わせ 9/19　5人　現地でのイベントの実施・観察 その他、毎週の研究室のゼミで打ち合わせを行った。		
今後の予定	10/16（4人）　イベントの観察分析・検討、次回に向けた打ち合わせ 11/14　現地でのイベントの実施・観察 2/20　アクティブフォーラムでの発表 その他、毎週の研究室のゼミで打ち合わせを行う。		

活動の写真





